

Pictet Market Flash

大手医薬品企業ノバルティスがバイオ医薬品企業アベクシスを買収

2018年4月9日、スイスの大手医薬品企業ノバルティスが、米国のバイオ医薬品企業アベクシスを87億ドルで買収することで合意したと発表しました。大手医薬品企業や大手バイオ医薬品企業が将来の成長に備えパイプライン（新薬候補）を充実させるために中小型のバイオ医薬品企業をターゲットとしたM&Aは継続するものと見られます。また、米国のレパトリ減税がM&Aを加速させる可能性にも注目です。

ノバルティスが遺伝子治療に強みを持つアベクシスを総額87億ドルで買収

2018年4月9日、スイスの大手医薬品企業ノバルティスが米国のバイオ医薬品企業アベクシスを、1株あたり218ドル（前営業日比+88%）、総額87億ドル（約9,300億円）で買収することで合意したことを発表しました。アベクシスは、遺伝子治療の分野に強みを持っており、2021年には売上高が10億ドル（約1,070億円）超となるとも予想されている脊髄性筋萎縮症（SMA）1型についての治験は現在、フェーズ3まで進んでいます。ノバルティスは、SMAのパイプラインを獲得するとともに、2017年8月に米食品医薬品局（FDA）から急性リンパ性白血病のCAR-T療法キムリアの承認を受けるなど、もともと強みを持っていた遺伝子治療の分野と神経科学分野を強化することになります。

専門研究で高い評価の中小型企業が魅力的なM&Aのターゲットに

バイオ医薬品セクターには、がん分野や遺伝子編集技術などの専門分野の研究に特化した、独自性の高い技術を有する中小型の企業が多く存在している一方で、これらの企業は、治験にかかる多額の費用をまかなうことは難しい場合があります。

既存の主力薬が特許切れに直面している大手医薬品企業や、特定の主力薬への依存が高い大手バイオ医薬品企業にとって、このような専門的な研究や技術革新について高い評価を得ており、有望な新薬候補（パイプライン）を有する中小型のバイオ医薬品企業は、魅力的なM&Aのターゲットになるものと考えます。

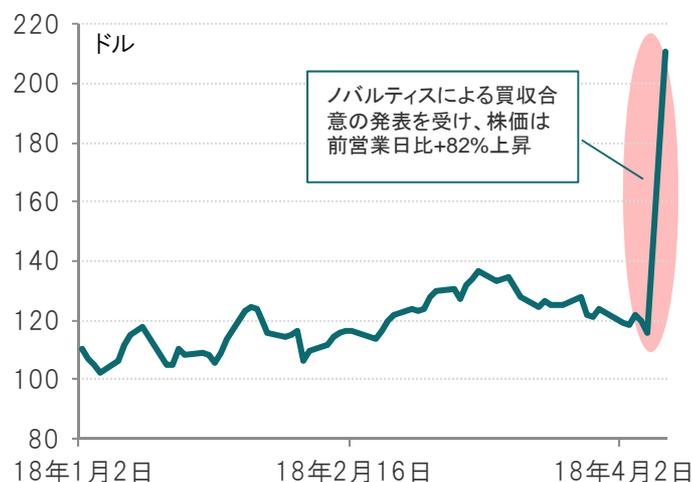
2017年12月に米国でレパトリ減税を含む減税法案が成立したことで、大手の医薬品企業やバイオ医薬品企業は資金計画を立てやすくなると考えられ、M&Aの動きが加速する可能性が注目されています。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものではありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

図表1:アベクシスの株価推移

日次、ドルベース、期間:2018年1月2日~2018年4月9日



出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

バイオ医薬品セクターについては、中小型の銘柄が多く、日々の株価の変動が大きくなる可能性がある点には注意が必要といえますが、良好な新薬承認動向や研究・開発（R&D）の生産性の改善といったファンダメンタルズ（基礎的条件）に変わりはなく、米国における規制環境も良好であることから、今後数年間、不測の事態を除き、相対的に高い売上高や利益の成長が期待されます。さらに、M&Aの動きが加速する可能性もあり、引き続き注目される投資対象であると考えます。

※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。

記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として紹介したものであり、その銘柄・企業の売買を推奨するものではありません。また、医薬品についてもあくまでも参考として紹介したものであり、その医薬品を推奨するものではありません。また、データは将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。